

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地											
トライデントデザイン専門学校		平成1年1月31日	坂本 直之		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785											
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地											
学校法人河合塾学園		昭和53年8月1日	河合 英樹		〒461-8611 名古屋市中村区今池1-5-31 (電話) 052-735-1600											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士											
文化・教養	文化教養専門課程	マンガ学科		平成21年文部科学省 告示第21号	—											
学科の目的	読み手に伝わる、丁寧な漫画を作成し、計画性をもって仕事ができるプロ意識の高い人材を育成する。															
認定年月日	平成27年2月17日															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験										
3年	昼間	2940時間	300時間	2640時間	0時間	0時間										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数											
90人	21人	0人	1人	8人	9人											
学期制度	■前期: 4月 1日～ 9月30日 ■後期:10月 1日～ 3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成果物、小テスト等による総合判定。												
長期休み	■学年始: 4月 1日以降 ■夏季: 7月20日～ 8月30日 ■冬季:12月24日～ 1月 7日 ■学年末: 3月19日～ 3月31日		卒業・進級 条件	進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。												
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別、あるいは保護者同伴での面談		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 イベント実行委員会、アメリカデザイン研修、アメリカスカ シップ留学、シンガポール交換留学など ■サークル活動: 有												
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) アニバーサリードリーム、アサヒテックなど一般企業及びデザイン業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)												
	■就職指導内容 キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面談指導など			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	0	0	0	0	0	0
資格・検定名	種	受験者数	合格者数													
0	0	0	0													
0	0	0	0													
■卒業者数		5	人	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 講談社別冊フレンドマンガセミナーAクラス賞 comicoDEBUTCUP奨励賞、月刊賞 徳間書店Chara新人賞、努力賞												
■就職希望者数		2	人													
■就職者数		2	人													
■就職率		100	%													
■卒業者に占める就職者の割合		40	%													
■その他 就職希望でない作家活動3名																
(平成 29年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)																
中途退学 の現状	■中途退学者 3名		■中退率		10.3%											
	平成29年4月 1日時点において、在学者 29名 (平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者 26名 (平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合、精神疾患															
■中退防止・中退者支援のための取組 個別面談、保護者会の実施、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング、カウンセリング勉強会の実施																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 トライデント奨学生制度・・・学力、出席率、品行ともに優秀であり、他の学生の模範となりうる者に対して、特待生として認定し、授業料の一部を進級時に免除。 トライデント海外留学奨学生(スカシップ留学)制度・・・学業成績の優秀な者に海外留学で海外でのデザインと語学の学習を通して、真の国際感覚と広い視野を身につける機会を与える。 トライデント同窓会奨学生制度・・・卒業生で組織されている同窓会より、人物、学業成績が優秀で勉学上経済的援助が必要な者に対し、進級時年額10万円を上限給付。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象															
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無															
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://design.trident.ac.jp/">http://design.trident.ac.jp/</a>															

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

常に業界第一線の状況を把握し、最先端の知識や技術を学校として吸収し教育内容に反映していくことはもちろんのこと、学生への教授についても第一線の仕事のすすめ方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体、学識経験者等からの要請、提言を聴取し、該当学科、ひいては学校全体の教育運営に資することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

上記の方針により設置される教育課程編成委員会は学科の諮問、支援会議体として校長の委嘱を受けた委員により、該当学科の授業科目の設定、授業内容の改善、授業手法の開発・改善など全般的な助言を行う。提出された助言については、校長、教務チームにおいて協議のうえ学科長に指示し、実行や改善に着手する。また、教育課程編成委員会からの助言とその助言に基づく学校としての改善実行計画については、別の委員会である学校関係者評価委員会で特に言及し評価を受けるものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
広井 優	株式会社KADOKAWA	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
村松 誠	一般社団法人日本学芸振興會	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
坂本 直之	トライデントデザイン専門学校 校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
森 きよみ	トライデントデザイン専門学校 統括チーフ	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
山城 明子	トライデントデザイン専門学校 教務・就職チーフ	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
安田 香織	トライデントデザイン専門学校 学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
高見 航	トライデントデザイン専門学校 教務担当	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
池内 琴未	トライデントデザイン専門学校 教務担当	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
日比野 誠	トライデント専門学校事業本部 キャリアセンター統括室長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
杉本 昭二	トライデント専門学校事業本部 キャリアセンター統括室	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 平成29年11月 8日 14:00～16:00

第2回 平成30年 2月 8日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

11月8日に実施した第1回委員会では、2016年教育の総括及び教育課程編成委員会からの指摘を盛り込んだ2017年度カリキュラム改善・変更点の報告。2018年度カリキュラム策定にあたり、漫画業界の動向、必要なスキルについて提言をいただいた。①作画力を上げるために合宿形式のやり込み型の企画。②作画力を上げるためにクロッキー帳の配布。①は2018年3月に実施。2月8日に実施した第2回委員会では、2017年度の教育・カリキュラムの振り返りを行った。③アシスタントインターンシップについてなどの提言を受け、②③について委員会の提言を元に2018年度カリキュラムを検討し、2018年前期にて希望者のアシスタントインターンシップを導入、また4月にクロッキー帳の配布。作画力のアップのため常に持ち歩き、描かせるよう指導する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携による演習等の科目においては、企業の業務水準を現実的に体感させることを主目的に設定する。疑似体験的な演習講義を通じて、企業で日常使われている技術・知識を体験、習得させる。また、授業を通じて学生たちが生み出した成果物に対する評価においても、学校という教育環境下での評価ではなく、市場を見据えた企業の現実の評価基準での判定を実施していただく。また、こうした演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

制作の現場において、作品のクオリティを上げるために使える時間には限りがあり、学校教育の現場と決定的に異なる要素である。知識や技術を単にもっているだけではなく、いかに短時間に有効な手法や問題解決の解法を見つけることができるかが、実社会においてはアドバンテージになっていく。本学科の演習においては、知識・技術の習熟とともに、そうした実践的な応用力を培っていくことを主眼に実施する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
コミックイラストⅡ ※現行「マンガイラストテクニックⅢ」	コンペティションに向けて受賞するための戦略を考える。背景や構図、着色の幅を広げ、作品のクオリティ強化を目指すことを目的とする	博物館明治村
マンガ技法Ⅴ ※現行「マンガイラストテクニックⅤ」	作品制作前の取材や資料収集を徹底することの必要性を理解する。細部にまで気を配り、よく観察し、丁寧に描く能力の強化を目指すことを目的とする。	NHNcomico株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。ただし、個人の努力目標のみではなく、業界第一線の知識・技術の習得については学校として機会を積極的に提供していく。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても法人全体の課題として取り組んでいく。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「デジタルマンガキャンパスマッチ2017」(連携企業等: デジタルマンガキャンパスマッチ実行委員会)

期間: 8月31日(木) 対象: 学科長

内容: パラスポーツアスリートの視点から見たスポーツの魅力を漫画で発信するアイデア企画について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「就職活動支援講座」(連携企業等: 愛知新卒応援ハローワーク ジョブサポーター)

期間: 9月5日(火) 対象: 全教員

内容: 就職環境の現状の理解と教員による学生の就職活動支援について

研修名「ハラスメントのない学びをめざして」(連携企業等: 河合塾ハラスメント防止・対策委員会)

期間: 9月5日(火) 対象: 全教員

内容: よりよい学習環境を作るため、学生指導におけるハラスメントの防止について

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「メディア・ユニバーサルデザイン」(連携企業等: メディア・ユニバーサルデザイン協会)

期間: 2018年6月26日(火) 対象: 学科長

内容: 障壁(バリア)を取り除くことで、ハンディキャップのある人にも快適な普通の生活を送ることを可能にするためのデザインについて

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「PROGテストを活用した教育方法」(連携企業等: 北陸大学経済経営学部長・未来創造学部長 山本啓一教授)

期間: 2018年8月9日(木) 対象: 全教員

内容: ジェネリックスキルを高めていく教育の仕組みを整備していくために、コンピテンシーの特徴やPROGテストの活用事例などを知り、ミニワークショップを行い、PROGテストの今後の活用方法を考える。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

校長直属の委員会として学校関係者評価委員会を設置し、「学校自己点検・評価報告書」および「授業科目等の概要」を中心に学校に対する外部評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・教育目的、教育理念・教育目標の周知、教育方針、独自性
(2)学校運営	学校運営の方針、事業計画、学校組織・組織の活性化、意思決定プロセス
(3)教育活動	各学科の概要と学修目標、学習目標とカリキュラムの関連性、各科目
(4)学修成果	在校生による具体的作品・成果、受賞、資格取得に関する考え方、資
(5)学生支援	就職指導の全体方針、就職に関する目標設定の考え方、就職に関す
(6)教育環境	施設・設備、保健・衛生管理、防災・災害に対する体制
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動の考え方、学校案内パンフレット・学校紹介ホームページ
(8)財務	予算、会計監査
(9)法令等の遵守	個人情報保護、学校自己点検・自己評価、学校関係者評価
(10)社会貢献・地域貢献	企業・団体との交流、附帯教育事業
(11)国際交流	留学生の受入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

2016年度のカリキュラムの総括及び2017年度のカリキュラムの改善点の報告とともに、2017年度に実施した自己点検・自己評価報告書の評価を行っていただき、それらの評価から以下活用予定である。

- ① 前回指摘の「教育理念・教育目的について」は不明瞭さについては、改善はみられるもののまだ理念が抽象的すぎるとの指摘を受けた。中期ビジョンを壮大に、短期ビジョンは具体的に打ち立て、どういふ学生を輩出したいのかを明確にする必要がある。現行の募集活動では、オールマイティな学生の育成としか受け取れないので、カリキュラムを見直し、就職やコンペ実績などしっかりとアピールできるよう2018年度に反映させる
- ② 「卒業生への支援体制について」パソナと提携をし、就職相談を受けられるサービスについて、保有しているがアピールできていない現状がある。2019募集ツールに反映できるように検討をする。また同窓会ネットワークについても今後構築していくことを検討を実施する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三木 哲朗	竹田印刷株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業など委員
大竹 伸明	株式会社パウハウス丸栄	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業など委員
山田 雄大	有限会社たけひろ建築工房	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	卒業生
伊藤 浩二	株式会社ジャパーナ	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページで公表  
URL:<http://design.trident.ac.jp/>  
公表時期:毎年12月末日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

全体として少しずつ公開項目を増やしていく。広報的作成物だけではなく、自己点検などの機会を利用して正確な情報を整理し、順次公開を進めていく。また、学生配付物についても、より多様な情報提供をリアルタイムで提供できるように取り組みを進めている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・教育目的、教育方針、学校運営の方針、特色、校長名、所在地・連絡先、学校の沿革、防災、保健衛生
(2)各学科等の教育	各学科のカリキュラム編成方法、年間の授業計画、進級・卒業の要件、コンペ・コンクールの実績
(3)教職員	教職員組織図

(4)キャリア教育・実践的職業教育	実習の意義、就職指導の全体方針、就職指導体制、就職実績、具体的就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、クラブ活動
(6)学生の生活支援	学生生活相談
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費援助制度
(8)学校の財務	河合塾学園事業報告
(9)学校評価	学校自己点検・評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
(ホームページにて毎年7月末日に公表)  
URL: <http://design.trident.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			デッサンⅠ・Ⅱ	造形活動をおこなう上での根幹的表現力であるデッサンの、伝統的かつ基本的手法を習得する。基本的なものの見方と姿勢を身につける。	1通	180	6		○		○				
○			コンポジション	アクリルガッシュ等を使用して平面構成を行い、色と形、そして空間とそれらの関係を理解し、構成する能力を養う。	1前	60	2		○					○	
○			デザイン史・色彩概論	デザインの起源から現在までの変遷を、特に近代デザインに重点を置いたデザイン史の知識を身につける。/色彩についての基本的な知識と体系を身につける。	1前	30	1	○			○		○	○	
○			感性教育Ⅰ・Ⅱ	体験的授業手法とグループワークを通し、創作者に求められる感性を育む。	1通	120	4		○		○		○		
○			アイディアトレーニングⅠ	作品を生み出す上での着眼点の重要性を理論的に学ぶ。他ジャンルの表現技法や自己分析などからアイディアの生み出し方を習得する。	1前	30	1	○			○			○	
○			CGⅠ	代表的なグラフィック/ドロー系のソフト「Illustrator」を使って基本的な作図方法を習得する。	1前	60	2		○		○			○	
○			CGⅡ	「Photoshop」で制作した作品を使い、「Illustrator」と組み合わせて、総合的な完成データの制作過程を習得する。	1後	60	2		○		○			○	
○			ストーリーマンガⅠ	ネーム構成の仕組みを学び、少数ページマンガに1つのテーマを絞り込む基礎力の習得を目的とする。	1前	120	4		○		○			○	
○			ストーリーマンガⅡ	読者に伝える意識の重要性を認識し、テーマに基づいたストーリーをネームに起こす力の習得を目的とする。	1後	120	4		○		○			○	
○			マンガ技法Ⅰ	マンガ原稿制作に必要なペン、トーンなどの使い方、及びコマ割構成やキャラクターのデザイン方法を習得する。	1前	60	2		○		○		○		
○			マンガ技法Ⅱ	マンガ表現における人物と物や背景の関係を理解し、コマ割の技術を向上、丁寧な完成原稿の制作を目的とする。	1後	60	2		○		○		○		





○		DTPデザインⅠ	様々なデザイン商品におけるレイアウト技術を学び、ポートフォリオを作成することを目的とする。	2後	60	2		○	○					○
	○	ストーリーマンガⅢ	これまで学んだ技術を応用し、マンガ編集部持込みのための投稿用マンガ作品を制作する。新人賞受賞を目指した戦略方法を習得する。	2前	120	4		○	○					○
	○	ストーリーマンガⅣ	より個性を追求し、期日までに質の高い完成原稿を作り上げる技術とスケジュール管理能力強化を目指すことを目的とする。	2後	120	4		○	○					○
	○	マンガ技法Ⅲ	これまでに習得した作画の基本を元に、投稿作品のための実戦的な技法を学ぶ。映画等からカメラアングル、構図の作り方を重点的に身につける。	2前	60	2		○	○					○
	○	マンガ技法Ⅳ	完成度の高い原稿を仕上げる意識を持つ。苦手分野に挑戦し、より魅力的なマンガページの構成力を習得する。	2後	60	2		○	○					○
	○	コミックイラストⅠ	アナログ画材とデジタル着色を共に学び、一枚作品の構成力を基礎から習得する。	2前	120	4		○	○					○ ○ ○
	○	コミックイラストⅡ	コンペティションに向けて受賞するための戦略を考える。背景や構図、着色の幅を広げ、作品のクオリティ強化を目指すことを目的とする。	2後	120	4		○	○					○ ○
	○	デジタルカラー技法Ⅰ	作品画像を効果的に見せるデザイン力の強化を狙いとして、作品の見せ方や作品集の編集技術の基礎、デジタルでの着色方法の多様性を習得する。	2前	60	2		○	○					○
	○	デジタルカラー技法Ⅱ	依頼された仕事を想定し、要望やテーマに沿ったデジタル作品を作る構成力習得を目指す。	2後	60	2		○	○					○
○		キャリアデザインⅠ	「社会人基礎力」における「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の理解、および実践に向けた行動をとることができるようになる。	2前	30	1		○	○					○
○		キャリアデザインⅡ	主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や、社会人・職業人としてしっかりとした勤労観や職業観を身につける。	2後	30	1		○	○					○
○		DTPデザインⅡ	「Illustrator」、「Photoshop」をベースに各種グラフィックツールにより制作することを目的とする。	3前	60	2		○	○					○
○		Painter	「Painter」ソフトの基礎技術、応用を学び、デジタル着色の作画表現の選択肢を増やし習得する。	3前	60	2		○	○					○
○		ドローイング	キャラクターを描く上で必要なスピード、作画方法、効果的な背景処理等の技術を習得する。	3前	60	2		○	○					○ ○

○	ストーリーマンガⅤ	編集部持ち込みを前提にしたマンガ原稿の制作を实践。読者の満足度を意識した発想力向上の習得を目指すことを目的とする。	3前	120	4	○	○	○						
○	マンガ技法Ⅴ	作品制作前の取材や資料収集を徹底することの必要性を理解する。細部にまで気を配り、よく観察し、丁寧に描く能力の強化を目指すことを目的とする。	3前	120	4	○	○	○						
○	コミックイラストⅢ	造形理論から出版社コンペティション、投稿の戦略まで、よりレベルの高い表現力を習得する。	3前	240	8	○	○	○	○					
○	卒業制作(マンガ専攻)	完成度の高い個性豊かな作品や実験的な作品を制作し、3年間の集大成となる投稿用完成作品を仕上げることを目的とする。また添削会に出品することも目的とする。	3後	300	10	○	○	○	○					
○	卒業制作(コミック専攻)	3年間の集大成となる見ごたえのあり時間的な蓄積を感じることでできる作品を制作する。ライトノベルを想定した総合的なデザイン力を習得する。	3後	300	10	○	○	○	○					
○	キャリアデザインⅢ	自己分析や社会、企業などの理解を通して、職業選択をする。	3前	30	1	○	○	○						
○	就職研究Ⅰ・Ⅱ	個々の学生の目標業種に応じた取組みを行い、また、就職活動の状況を把握し、効果的に就活を進めるための総合的サポートをおこなう。	3通	60	2	○	○	○						
合計			40科目	2940単位時間(		98単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。